

# 令和元年度 第3回 明石市財政健全化推進協議会

## 議事録

日時 令和2年（2020年）1月28日（火） 13:30～14:00  
場所 議会棟2階大会議室

明石市

## 次 第

### 1 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について

### 2 その他

#### 【資料】

資料 1 財政健全化に向けた各会派からの提案 及び 市の考え方

---

出席者 委員 市議会側

宮坂座長、三好議員、松井議員、吉田議員、出雲議員、筒泉議員

委員 行政側

和田副市長、宮脇副市長、横田政策局長、中島総務局長、箕作財務部長、長田教育委員会事務局次長（北條教育局長代理）

委員以外の出席者

丸山政策室長、島瀬総務管理室長、中原職員室長、小西参事（財政健全化担当）、藤原財務担当課長、松永財政健全化担当課長

傍聴者 市民 1名

筒泉委員より、第2回財政健全化推進協議会欠席について謝罪  
事務局より、北條教育局長欠席のため、長田教育委員会事務局次長による代理出席について説明

## 1. 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について

出席者(行)：資料1について、修正をお願いしたい。1 公共施設配置の適正化の1 項目め、事務所系施設の見直しの市の考え方について、後段「また、現庁舎敷地のうち新庁舎の敷地とならない部分については、民間事業者への売却等を検討するなど、できる限り新庁舎整備に伴う市負担額の軽減を図ります。」という記載がある。1 2月議会でも新庁舎建設後の残地については、様々なご意見をたまわっており、市の貴重な財産であるという意見の趣旨をふまえる必要があると考えている。また、隣接する明石港東外港地区の県による再開発との連携した活用も考えられる。このため、跡地利用については検討中であり、3月議会で改めて報告させていただくこととし、申し訳ないが現時点では、後段部分は削除させていただきたい。

松永財政健全化担当課長より資料1について説明

座 長：それでは、資料1「財政健全化に向けた各会派からの提案及び市の考え方」を踏まえて、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員(議)：公共施設配置の適正化1 項目めの資料訂正のあった部分について、問題があると考えていたので、資料訂正があり良かった。  
次に少年自然の家について、野外活動する場所は子どもの教育のために必要と考えている。現在の施設のある場所では、窓が開けられないなど、施設の利用に制限があり難しいとは思いますが、別の場所で施設は必要ではないか。子どもの野外活動を行う施設について、維新の会は市外の施設を活用、公明党は明石港東外港地区の活用ということを提案されている。市外で野外活動は可能なのか、また明石港東外港地区でそういった施設は適当なのかについて、教育委員会、市として、どのように考えているのか。

出席者(行)：近隣の自治体では、神戸市、加古川市に少年自然の家と同じような野外活動施設があり、距離は遠くなるが、利用は可能と考えている。

出席者(行)：明石港東外港地区の再開発については兵庫県が公募の手續等、取り組みを進めているところである。そのような施設が可能かどうか、県ともよく調整を図り

ながら、検討していきたい。

委員(議)：他市の施設は、神戸市や加古川市、またその地域の小学校が優先的に利用するのではないかと。市内に野外活動ができる方がいいという意見が会派内であった。東外港地区は県が再開発を進めているとのことだが、そのような施設についてもまた考えてほしい。

もう1点、明石市東部において県水を導入することについて、現在は河川水の方が安いということだが、私は将来的に明石川の水が使えなくなるのではないかと思う。阪神水でも県水でも、市民のために早めに導入することについて取り組んでほしい。

委員(議)：少年自然の家について、先ほどの意見に対して、会派の意見をお答えする。野外活動施設について、江井島が使えなくなるのであれば、東外港地区に持ってくるのが良いのではないかと考え、提案している。神戸市や加古川市の施設を利用することは難しいのではないかと。東外港地区であれば、明石の美しい景色を背景に宿泊することができる。ユースホステルのように安い価格で、外国の方でも宿泊できるような施設をイメージしており、そのような施設を検討していただければよいと考えている。

出席者(行)：どのようなものができるか、議員のみなさまの意見も踏まえながら、県とよく調整していきたい。

委員(議)：当会派からの提案については、前向きな回答をいただいたと思っている。しかし、播磨臨海地域道路について、地元の意見をよく聞くということだが、そのような動きが見えてこない。そのような流れはできているのか。

出席者(行)：播磨臨海地域道路の地元意見集約について、今の段階では、事業主である国が地元自治体、地元市民、関係団体等に現在ヒアリング等を行っているところであり、まずはその意見集約を待って、市として進めていきたいと考えている。

委員(議)：この件に関しては、国であったり、県であったり、広域連携という形になると思う。そんな中、明石の議会で話がまだできていないところで、市長が反対を表明したという報道があった。実際に道路整備の対象となっている当市で、より慎重に市民の声をしっかり聞いた上で、場合によっては議会においてもしっかり意見集約した上で、賛成なのか、反対なのかの意見表明をしていただきたい。今後、そのような機会を設けて進めていただきたい。

自然の家については、今あるものはしっかりと使っていくが、老朽化し、使用が困難ということであれば、市に1つ必ず持っていなければならない施設なの

かということを考えるべきである。施設が必要ということではなく、広域連携で他市の施設を利用させていただければいいと考えている。財政健全化の観点からいえば、施設の有効利用が重要である。建て替えても利用が進まなければ、運営していくことが難しい場合もあるという意見が会派内でもあった。

委員(議)：少年自然の家について、施設を持っていて、それを有効利用することは当然だと考えている。現在の少年自然の家のニーズだけでの運用は難しいとは思っている。色々なニーズを加えていき、様々な人に利用される施設にするということを考えている。子どもたちが使うシーズンは決まっているので、違うニーズを加えて利用を生み出していきたいと考えている。

委員(議)：少年自然の家について小中学生の利用だけでなく、大学生や高校生が閑散期に利用しているという例が他市で多く見受けられる。淡路では利用が多く、予約をとれない施設があるとも聞いている。他の地域と連携をしながらも、施設として、いろいろな形で有効利用することも考えられる。

ふるさと納税について、寄付実績額が昨年度と比べて1.9倍になったとのことだが、金額でみれば、他市と比較すればそんなに多くないのではないか。明石市として取り組んでいるSDGsのグッズを作成したり、社会的課題を解決したりするような取り組みが考えられないか。

出席者(行)：ふるさと納税に関しては、社会的課題への関心が高い方からの寄付をどのように呼び込むかという課題はあると考えている。昨年度は寄附の使い道として明石ダコの保護を実施したが、明石市と関係のある社会的課題を解決するという視点も含めて検討していきたい。

委員(議)：先日、総務委員会の議会報告会があった。地域エネルギーのことや商店街のことをふるさと納税による寄附の使い道に加えてほしいという意見も出ていた。これから何ができるか、市としても考えていただき、議会としても取り組んでいきたい。

座長：他に何か意見があればお願いしたい。

#### 【意見なし】

座長：ないようなので、意見交換は終結する。それでは次に、市の考え方を踏まえて、今年度の財政健全化推進協議会としてのまとめ方について協議したい。先ほどの意見交換の中では、各会派からの意見に対して、他の会派から明確に反対の旨を表明する意見はなかったように思う。それぞれの会派において、真摯にご

協議いただき、提案していただいた内容であり、座長としても財政健全化の取り組みの趣旨に反するような提案は含まれていないと判断しているので、今回各会派から提案いただいた35項目について、昨年度と同様に、全項目を今年度の財政健全化推進協議会全体の提案としてまとめ、市に提出したい。ご異議ございませんか。

「異議なし」

座長：ありがとうございます。それでは、全項目を財政健全化推進協議会全体の提案としてまとめたいと思う。なお、提案書の体裁や議会から市への提出方法等については、座長である私に一任いただければと考えている。ご異議ございませんか。

「異議なし」

座長：ありがとうございます。それでは、事務局とも相談の上、座長より市長へ書面を提出させていただく。

## 2. その他

座長：何か意見があればお願いしたい。

委員(議)：今後、財政健全化の取り組みとして、新年度以降、どのように考えているか。

出席者(行)：財政健全化推進協議会は、財政健全化に向けて、市全体の施策・事業について、市議会と市行政とが、協力して、対等の立場で幅広い観点から総合的に議論していくために設置しているものであり、平成25年度以降、毎年度、市議会と市行政の合意のうえで設置してきた。来年度についても、今後、正副議長をはじめ市議会のご意向を改めて確認させていただくとともに、市行政内部においても改めて方針を確認し、調整を図りたいと考えている。財政健全化の取り組みについては、短期的な成果も求められる一方、将来を見据えて長期的、継続的に議論していくべきテーマでもある。公共施設の問題などは、単に将来の行政サービスのあり方、というだけでなく、市民生活にも大きく影響するテーマであり、担当としては、何らかの形で市議会と市行政が継続的に議論する場は必要と考えている。今後、調整を図らせていただくので、よろしくお願いしたい。

委員(議)：財政健全化の取り組みというのは、いかなるときも続けていく必要があると考えている。削減するということだけでなく、歳入についても意識しながら、各会派、行政で議論していくことは有意義なことである。今後も、財政健全化の取り組みとして、続けていきたい。

委員(議)：1点追加で、浜西第17号池について、整備が進んでおり期待している。淡路島ではサッカー場の予約がいっぱいであるという話も聞いており、公園やサッカー場ができれば、青少年の交流の場も増えることになる。明石市でも宿泊するところがあれば活用することもできる。青少年の育成にも活用できればと考えている。

座長：他に何か意見があればお願いしたい。

**【意見なし】**

座長：これで本日の議事は終結とする。あわせて、今年度の議事についても、すべて終結となるので、何か突発的な事案が発生しない限りは、今回の第3回をもって最終の財政健全化推進協議会とさせていただきます。

各幹事長のみなさまには3回にわたって熱心に議論いただいたのみならず、それぞれの会派内において提案内容の集約のため、あるいは公共施設配置適正化をはじめとする財政健全化の取り組み全般について、広く議論いただいたと思う。この間のご精励に深く感謝申し上げます。また理事者のみなさまにも、会議の運営に協力いただき、お礼を申し上げます。各会派から出していただいた35項目の提案を、協議会全体の提案として、一つの形に取りまとめることができた。後ほど私の方で正式に書面をもって提出させていただくが、理事者のみなさまにおかれましては、提案の趣旨を十分にご理解いただき、今後の市政運営の中で可能な限り反映していただくようよろしくお願いいたします。それでは、以上をもって、令和元年度第3回明石市財政健全化推進協議会を終了する。

閉 会